

令和3年8月 愛西市教育委員会 定例会 会議録

開会日時 令和3年8月3日(火) 午前10時00分
閉会日時 令和3年8月3日(火) 午前10時45分
場 所 愛西市役所 南館1階 会議室1-3

■ 出席委員 教育長 平尾 理
 委 員 平野 英治
 委 員 杉方 南衣
 委 員 水谷 朋和
 委 員 大竹 節雄

■ 欠席委員 委 員 難波 知里

■ 説明のために出席した職員
教育委員会 教育部長 三輪進一郎
 教育部次長 小島 洋志
 学校教育課主幹 稲垣 潤一
 学校教育課長 猪飼 政和
 スポーツ課長 伊藤 義幸
 生涯学習課長 石田 泰弘

■ 傍聴者 2名

1 開会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 議事

(1) 愛西市教育委員会後援名義使用について

(2) 就学校の変更について（非公開）

(3) 令和4年度使用教科書図書選定結果について（非公開）

(4) その他

5 閉会

(教育部長)	1. 開会 開会宣言する。
(教育部長)	2. 前回会議録の承認 前回会議録について、事前にお手元にお届けしましたがお気づきの点やご異議はなくご署名をいただきましたので、ご報告いたします。
【教育長】	3. 教育長報告 夏休みに入りまして10日以上が経ちました。また、コロナ感染の方も第5波ということで、計画しておりました広島派遣は中止になりました。教員採用試験も例年倍率が低下しており、今年の愛知県は2.7倍ということで非常に危惧されております。原因も明らかにしなければならないと思います。 オリンピックでは、市の栗林投手が非常に大活躍されたということで久しぶりに良いニュースですが、依然課題が山積しております。今後もよろしくお願いします。
【教育長】	4. 議事 (1) 愛西市教育委員会後援名義使用について を議題とします。 《全委員異議なし》
【教育長】	異議もないようですので、承認します。
【教育長】	次に、(2) 就学校の変更について を議題とします。こちらにつきましては、非公開とさせていただきます。 (傍聴者2名、退室) (傍聴者2名、入室)
【教育長】	(4) その他 について何かありましたらお願いします。
(委員)	コロナ禍前よりGIGAスクール構想は国として、経済政策の一環だったと思います。GIGAスクール構想の課題、働き方改革、新型コロナウイルスの影響で昨年度から学校行事は大きな影響を受けてきました。愛西市の学校においては適正規模、校舎の老朽化、少子化の問題があります。

	インドのデルタ株が終息見えない中でアフターコロナには程遠い時期ですが、少なくとも中止やウィズコロナの体制がとれるのか、各課において課題は違うと思いますが、今までの総括と今後の課題を検討しておりますでしたらお願いしたいと思います。
【教育長】	生涯学習課よろしくお願いします。
(生涯学習課長)	所管施設においては、当初は未曾有の出来事で対応に追われる形で行ってきましたが幾分落ち着いてきたと思います。ソーシャルディスタンスの確保、人数制限、消毒、体温測定、名簿作成といった対策で運営の方は継続しております。市としても6月補正予算において、中央図書館に網戸設置、文化会館、佐織公民館には小型サーキュレーターを購入して対策をさらに強化しています。多くのイベントはコロナにより中止になりましたが、現在は対策を講じながら様々な学習プログラムを人員の削減等も考えながら随時計画、実施しています。ただ、これから文化祭、社会教育講演会、あいさい音楽祭、成人式といったイベントが多くなってきました。実施開催についてはコロナの動きを注視しながら対応を考えなければなりません、計画している状況です。現在文化財においては立田の文化財資料倉庫は解体で進めており、この夏休みの間には実施できるかと思っています。 現状を踏まえての課題は文化会館の指定管理も2期目に入りますので、準備をしておりますし、様々なイベントも抱えております。その中で、あいさい音楽祭を進めておりますが様々な方のご意見もいただいております。できるだけ多くの方が楽しめて、愛西市全体で盛り上げられる事業展開ができるように職員一同考えながら進めている状況でございます。 文化財の課題として大きいのは、技術や文化の伝承です。尾張津島天王祭りが3年間中止になっており技術の伝承、地域における祭礼もコロナにおいて中止になっております。地域の方たちの話を伺いながら継続、伝承できたらと考えております。 成人式は令和4年から民法改正で18歳以上が成人になりますが、20歳を対象としたお祝いをするということで考えておりますので、実施運営を課題として考えております。
【教育長】	何かございますでしょうか。 《全委員異議なし》

【教育長】 (スポーツ課長)	スポーツ課、お願いします。 スポーツ課の現状と課題につきましては、施設側も利用者側も双方ともに消毒、換気、人数制限も行い、県の宣言措置が出た場合には時間制限をしながらご利用いただいているのが現状です。 スポーツイベントにつきましては、5月に予定しておりました木曽三川交流レガッタ、10月に予定しておりました立田・八開地区の市民体育大会、12月に予定しておりました愛知駅伝等、コロナの状況を見ながら運営委員会などで相談、決定しておりますが、ほとんどの事業が中止になっています。 その他にコロナ禍とは違いますが大きな課題の1つといたしましては、学校の働き方改革と、持続可能な部活動のために学校部活動を地域で受け入れる体制整備を進めることがございます。今までの部活動は先生方の献身的な勤務により支えられている現状がありましたので、休日に教師が部活動の指導に携わる必要の無い環境整備が必要であると文科省も言っております。今後市としては、地域の方にお世話になることも想定しながら進める予定をしております。現状の動きとしては、7月に先進地に視察に行きまして、学校教育課と協力しながら市にあった方法を検討しております。
【教育長】	何かありますでしょうか。 《全委員異議なし》
【教育長】	土日の中学校における部活動、本来文科省は土日に授業を行わないと同様に、部活動をする必要はないというような考えにシフトをしております。令和5年度より段階的に学校部活動から地域クラブの方に移行していく形で、先進地区の視察もスポーツ課と学校教育課へ行っていただいております。 なお、子ども達の日々の体験や人との交流は減少化しているので、子ども達には小学校の時からスポーツ少年団に行くなり、習い事を習ったり、社会グループで交流するなどの日々の生活体験を増やしていくことが大切です。それが、体力向上にも結び付ければいいのではないかと思います。学力のみに目がいきがちですが、愛知県の体力低下状況もありますので、愛西市では伸ばしていきたいと思っております。

【教育長】 (学校教育課長)	続きまして学校教育課、よろしくお願いします。 学校現場の方も新型コロナウイルス対策に追われています。新しい生活様式を進めていく中で、昨年度は消毒液、マスク等必要資材の準備をさせていただきました。年度後半にはなりましたが換気等をスムーズに行うために各学校網戸の設置をさせていただいております。今年度につきましては8月6日に臨時議会が開かれ、コロナ関連の補正予算も出ますが、学校教育課としてはコロナ感染対策を目的に自動水栓を、一部にはなりますが交換する予算を出しております。 GIGAスクールの関係ですがコロナに伴い前倒しされ、無事に昨年度中に1人1台手配できました。今後どうなるか分かりませんが、有事に備え、家庭への持ち帰りも視野に考えております。ICT環境が進む中で子ども達の実体験が希薄化されており、心配されている状況です。学校行事もコロナの関係で縮小、見直しされておる中で、今後フォローできるように準備段階ではありますが、体験学習のような形で進められたらと思っております。 適正化につきましては、各学区別、年代別出生数等を確認しながら状況を注視しております。以前の想定よりも児童生徒数が減少するのではないかと心配されております。今後回復すればよいと思っておりますが、子ども達の人口推移については注視していかなければならないと考えております。また、子ども達の人数が直結するわけではないですが、適正規模、施設の関係も関わるかもしれませんのでその点も含め注視しなければいけないと思います。適正規模の関係につきましては、7月1日に教育長が市民の方とお話しする機会がございました。 教員の働き方改革に関しまして、部活動を学校教育課でも課題として捉え、考えていかなければならないと思っております。
【教育長】	コロナ以前から行ってきた行事を見直していかないと、国や県が出している勤務時間内に終わらせるのはなかなか難しいです。実際の県教委の発表によると、7パーセントくらいが月80時間を超えております。本腰を入れていかないと教員の質、高い教育が担保できなくなってしまう。 タブレット端末により情報が瞬時に子ども達の目の前に情景として浮かび上がります。これにつきましては、直接体験の機会があれば学習意欲を喚起できると思います。校長先生より話を聞くと、修学旅行に行った中学生が富士山に驚いたということでした。学校だけでなく、地域、社会、家庭でも色んな体験させ、価値観やダイバーシティがテーマになってお

【教育長】	ります。いろんな人との交流が必要ということで、学校や地域、家庭に働きかけていきたいと思います。
(委員)	3課合わせて何かありますでしょうか。 何年か前の総合教育会議で、出生数の推移を注視し、事実、実態を目の当たりしたことで、会議前に委員の考えがまとまったという経緯があります。最近の日本の出生数が84万3千人という驚くべき少ない数字が出ておりました。1番肝心の愛西市内の出生数の推移状況を市民の方に知っていただき、事実実態の把握から業務が始まっていく気がしています。一部が知っていても業務は空回りすると思います。皆さんで課題を共有し、議論を深めていくという形で進めていければと思います。
【教育長】	平成26年度から3年に渡り検討委員会、検討協議会があり、その間に各地区で懇談会が開かれていたというようなことはあったと思います。出生数は常に注視しなければいけないと思っています。実際は人口推計よりもかなり新生児の人口が少ない傾向です。しばらくは注視する必要があります。
【教育長】	その他何かありますでしょうか。 《全委員異議なし》
【教育長】	異議もないようですので、以上で議事を終わりたいと思います。
(部長)	次回定例教育委員会は、9月1日（水）10時30分になりますのでよろしくをお願いします。 5. 閉会 閉会宣言をする